

## 横断歩行者保護 交通安全コーチング (※小学生向け)

### 2-2\_信号交差点・右折時での危険\_歩行者編

### あぶない！こうつうじこのヒミツ

#### インストラクター 手引き書

この講習は、通常の交通安全講習とは異なり、受講者の皆さんが主体です。ディスカッションを行う際は、コーチングの基本を参考に、進めてください。

#### ◎コーチングの基本

- ・ どんな意見に対しても否定はしないこと。
- ・ 自由奔放に意見ができる雰囲気をつくること。  
(真面目な意見も面白い意見も大歓迎)
- ・ 人の意見と同じでもいいし、そこから発展させることも大いに結構。

## 横断歩行者保護 交通安全コーチング

(※小学生向け)

### 2-2\_信号交差点・右折時での危険\_歩行者編 あぶない！こうつうじこのヒミツ

#### ●はじめに

交通事故による死者は、歩行中が最も多く、そのうちの7割は、道路を横断するときに発生しています。ドライバー・歩行者、双方の不注意と見逃しが重なることが、主な要因となり、横断歩行者の事故は起きています。

不注意や、見逃しをしてしまうなど、危険を察知する力が欠けてしまう理由のひとつに、わたしたち人間は、体調や気分、それぞれの性格によって、異なる判断をし、ときに正しい行動ができなくなることがあります。

「横断歩行者保護 交通安全コーチング」では、自分自身を振り返り、自分はどんな感情を持ちやすいか、そしてその感情がどのような危険行動をもたらすかに気づき・知ってもらい、横断歩行者保護の啓発につながることを、目的としています。

本動画では、信号機のある交差点において、特に事故が多いとされる「子ども」に向けた安全な横断をテーマとしています。

- ✓ 小学生では歩行中死者数が半数を超え、小学1・2年生の「歩行中」が突出。
- ✓ 小学生では横断中の死傷者が多い。
- ✓ 小学生の歩行中事故は、
  - ・ 新学期開始から夏休みまで（4月～7月）と秋（10月～11月）
  - ・ 登校 及び 下校後の時間帯（7時台、15時台～17時台）
  - ・ 横断中事故と飛出しが多い。

※P4以降の参考データをご参照

#### ●ゴール

信号機のある交差点を横断するときの、自身の歩き方について振り返り、安全な横断方法について気づき・実践していくことです。

#### ●プログラム（※受講者ハワークシートを配布し、プログラムに沿って進行してください）

- 1: 動画を再生し、最後まで動画を視聴します。（約3分）
- 2: 普段の自分の横断時への振り返りと気づきの教育を行います。各自ワークシートで自己採点を行い、自分は安全に横断しているか、点数とその理由を各自に発表してもらいます。（約10分）
- 3: 動画を見て、みんなから発表された横断歩道の渡り方を聞いて、自分が今後行う安全な横断方法を選択し、各自が発表します。（約5分）

所要時間： 約15分～20分



## 横断歩行者保護 交通安全コーチング

（※小学生向け）

## 2-2\_信号交差点・右折時での危険\_歩行者編 あぶない！こうつうじこのヒミツ

## ●横断歩行者保護 交通安全教育プログラム 進行フロー

- 2: 普段の自分の横断時への振り返りと気づきの教育を行います。各自ワークシートで自己採点を行い、自分は安全に横断しているか、点数とその理由を各自に発表してもらいます。

インストラクター：

「自分が何点か、なぜその点数にしたのかの理由も含めて、発表してね。」

（発表に対するコメント例）

- ・0点～99点 → 「100点に足りていない理由は？何ができていないのかな？」  
→ 「100点になるために、横断するときにはどんなことをする？」
- ・100点 → 「これからも100点にしていけるために、どんなことに気を付けて横断しますか？」

- 3: 動画を見て、みんなから発表された横断歩道の渡り方を聞いて、自分が今後行う安全な横断方法を選択し、各自が発表します。（約5分）

インストラクター：

「動画を見て、みんなの発表を聞いて、**今後、横断歩道をわたるときに、自分は一歩これに注意してわたりたい**、ということは何かな？みんなひとりひとり発表してね。」これから、**横断歩道（おうだんぼどう）**をわたるときに、じぶんはこれを、いちばんきをつけたいとおもうことをかい受講者  
ワークシート

- （例）
- ・おうだんぼどうでは、かけださない。
  - ・うんでんしゅさんと、目をあわせる。

インストラクター：

「みんなそれぞれ発表してもらったことを守って、これからも安全な横断方法で、横断歩道をわたしましょう。」

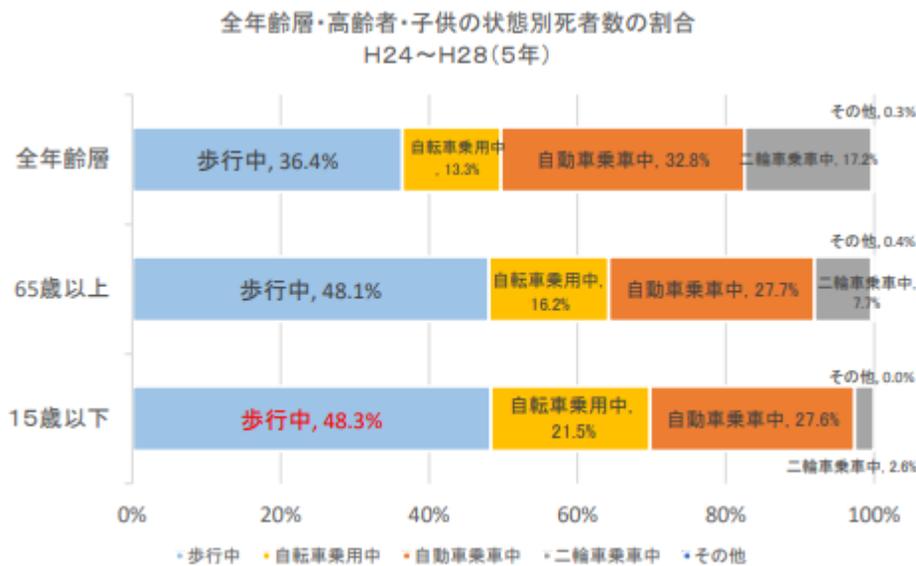
「これで、交通安全教育を終了します。」

## 横断歩行者保護 交通安全コーチング

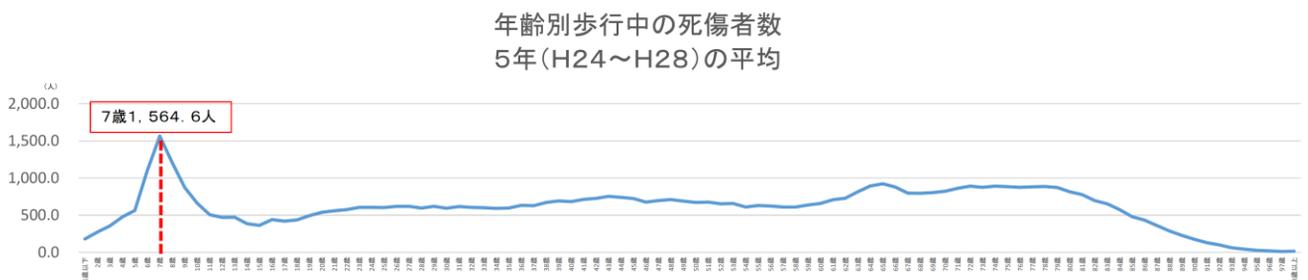
## - 子どもの交通事故の実態 -

- 小学生（特に小学1・2年生）は、歩行中事故が多い（死傷者数では7歳がピーク）。歩行中では、男児は女児の2.5倍。
- 小学生の歩行中事故は、
  - ・ 新学期開始から夏休みまで（4月～7月）と秋（10月～11月）
  - ・ 登校及び下校後の時間帯（7時台、15時台～17時台）
  - ・ 横断中事故と飛出し
 が多い。

### ● 子ども（15歳以下）の死者数は、48.3%が歩行中

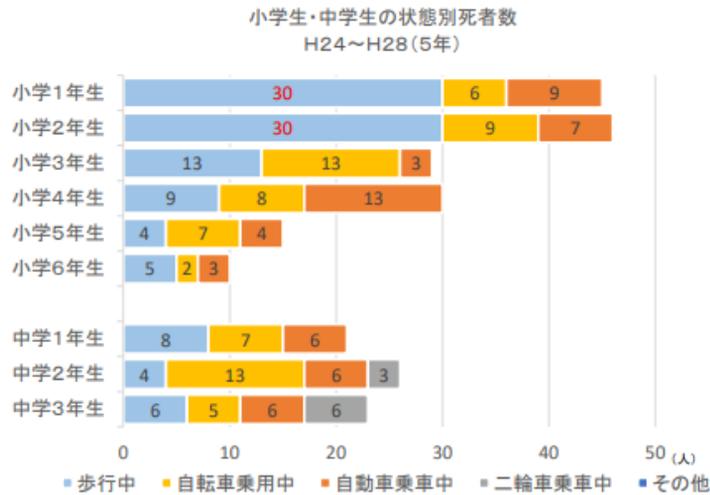


### ● 歩行中の死傷者は、7歳（小学1・2年生）が最も多い。

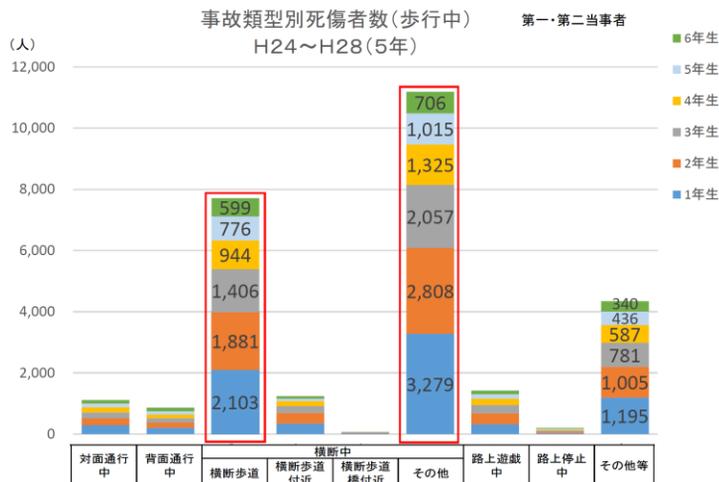


# - 子どもの交通事故の実態 -

●小学生では歩行中死者数が半数を超え、小学1・2年生の「歩行中」が突出

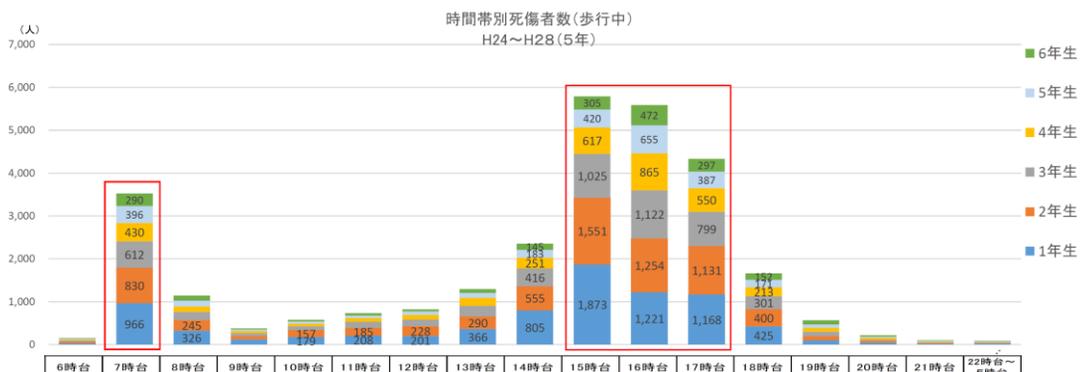


●小学生では横断中の死傷者が多い。



●小学生全体では7時台と15時台から17時台が多い。

●小学1・2年生は、15時台が最も多い。



# -歩行中の小学生を交通事故の被害から守るために-

## 保護者及び交通安全教育を行う方へ

保護者から離れた場合においても、単独又は複数で歩行者として安全に道路を通行することができるように基本的な心得を再確認させましょう。

### ★ 歩行者の通る所

歩行者は、原則として歩道又は幅の十分な路側帯を通行しなければならないこと。

### ★ 横断の仕方

#### ☆ 横断する所

横断歩道又は信号機のある交差点が近くにある場合は、その横断歩道又は信号機のある交差点で横断しなければならないこと。

#### ☆ 信号機のある所で横断しようとする場合

- ・ 信号機 の信号の種類と意味、信号機の信号に従って通行しなければならないこと。
- ・ 信号が青になっても、右左の車が止まったのを確かめて横断すること。

#### ☆ 信号機のない所で横断しようとする場合

- ・ 横断歩道橋、横断用地下道又は横断歩道が近くにある場合には、これらを利用して横断すること。
- ・ 横断歩道橋、横断用地下道又は横断歩道が近くにない場合は、道路がよく見渡せる所を探し、歩道の縁又は道路の端に立ち止まって左右の安全を十分に確認すること。
- ・ 走行中の車両が歩行者の横断のために停車した場合は、他の車両の動きに注意し、安全を確認してから横断を始めること。
- ・ 横断中も車両が近づいてこないかどうか周囲の状況に注意すること。
- ・ 停車又は駐車中の車両の陰から別の車両が突然出てくることがあるので注意すること。

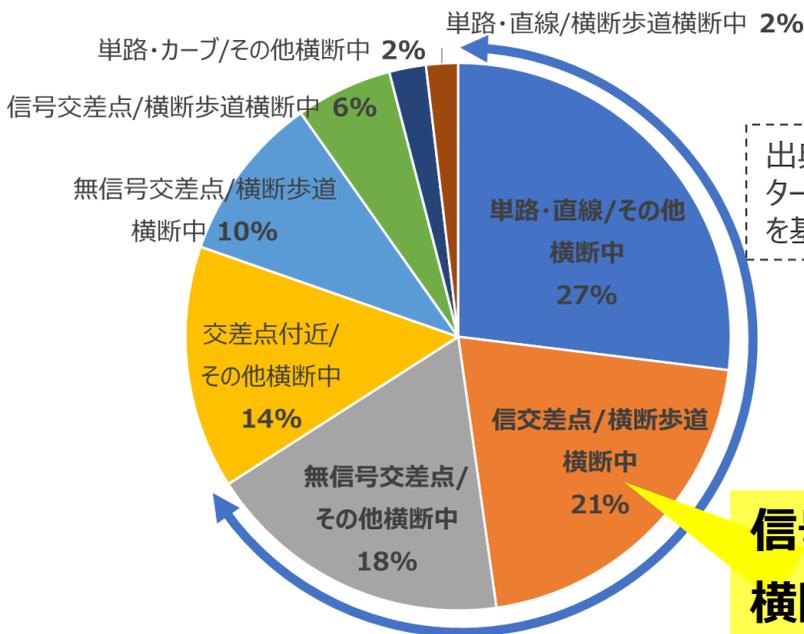
※ 交通安全教育指針（平成10年国家公安委員会告示第15号）第2章第2節2（2）参照

➤ 歩行者の死亡事故の約7割が横断中で、道路形状別にみると、以下の場所で死亡事故が多発。

- ① 単路・直線/その他横断中27%
- ② 信号交差点/横断歩道横断中21%
- ③ 無信号交差点/その他横断中18%

横断中歩行者死者数

相手四輪 2018~2020 n=2,132



出典：（公財）交通事故総合分析センターの集計データ（2021年4月1日時点）を基に作成。

信号交差点/  
横断歩道横断中21%

	① 単路・直線/ その他横断中	② 信号交差点/ 横断歩道横断中	③ 無信号交差点/ その他横断中	
多い事故の形	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 直進四輪車と「右から」の歩行者との事故</li> </ul> <p>四輪直進中の事故98%</p> <p>右から 68% 高齢者 72%</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 右折四輪車と歩行者の事故</li> </ul> <p>四輪右折中の事故48%</p> <p>左か59% 高齢者60% 右から40% 高齢者38%</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 直進四輪車と「右から」の歩行者との事故</li> </ul> <p>四輪直進中の事故44%</p> <p>右から64% 高齢者68%</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 直進四輪車と「右から」の歩行者との事故</li> </ul> <p>四輪直進中の事故85%</p>